

## 1 実施の概要

タイトル	D I G（災害図上訓練）を活用した防災教育の工夫
外部指導者	秋田県総務部総合防災課 副主幹 菊地陽司氏
実施日時	平成25年10月30日（水）午前9時30分から正午まで
実施場所	八郎潟町立八郎潟小学校 体育館
参加者	6年児童60名、教職員5名、地域の方12名

## 2 実践内容

次第・講義内容	○準備 ・留意事項等
1 校長あいさつ 2 講師・地域の方々を紹介 3 D I Gについて説明 4 平常時の町を確認 <シールやマジックで色分けする> ・国道、広い道路、狭い道路、通学路等 ・学校、公園、田んぼ、川、広い駐車場等 ・避難場所や公民館、病院、食堂、自販機等 5 人的配置や危険な場所の確認 <シールやマジックで色分けする> ・身近にいる「助けられる人」「たよりになる人」 ・地震で崩れそうなところ など 6 地震発生時の被害を想定 7 まとめと発表 ・地震から命を守るためにはどうするか。 ・今日、学んだことをどう生かしていくか。 8 児童代表感想発表とお礼の言葉	○プロジェクター、スクリーンを準備 ○事前に9地区の班を作り、各班の地図（A1サイズ）と町全体の地図を準備 ○シール、マジック準備 ・自分たちの地区について、登下校で気付いたことなどを出し合う。 ・各地区に地域の方々に入っていたら、一緒に作業を進める。  ・それぞれの地区の発表を聞く。 ・自分の地区以外の様子を知ること町全体の様子を把握する。

## 3 参加者の感想

児童	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで、自分の地区がどんなところなのか、考えてみる事がなかった。今回、みんなで話し合うことで、危険なところがあるかわかった。</li> <li>・地域の方から教えていただいて、昔、湿地帯だったところや何年前から建てられていた建物かがわかった。</li> <li>・私たちの地区には、お年寄りが多いので、みんなで声をかけ合って避難したい。</li> <li>・崖くずれが起きることを考えて行動しようと思った。</li> <li>・私たちの地区では、食料が手に入る場所が多いということがわかった。</li> </ul>
----	---

	<p>避難場所がどこなのか、しっかり調べておきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々にアドバイスをいただいて、地域のことがよくわかった。</li> <li>・シールをはったり、マジックで色を塗ったり、確認しながら作業を進めることができた。</li> </ul>
<b>地域の方</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちと一緒に、改めて地域を見直すことができた。</li> <li>・一緒に取組ができて、大変有意義であった。</li> <li>・これからは、子どもたちにお世話してもらわなければいけなくなってくる。子どもたちの学習に期待している。</li> </ul>

#### 4 成果と課題

<b>成 果</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 自分たちの地区を防災の視点で見直すことができた。 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 平常時に地区にあるものが、災害時にはどんなふうに危険なのか、どんなふうに役に立つのかを学ぶことができた。</li> <li>(2) 自分の地区の危険（昔は湿地帯だったこと、裏に崩れそうな山があること、細い道が通っているなど）を知り、災害時に気を付けなければいけないことを確認することができた。</li> <li>(3) 自分の地区に、どんな人が住んでいるか（助けなければいけない人、たよりになる人など）を知り、互いに声をかけて助け合いながら避難するという思いを強くもつことができた。</li> </ol> </li> <li>2 地域の方と一緒に学ぶことで、地区のことをよく知ることができた。 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 災害時、この土地は昔どういう状態だったのかなど、今の状態からはわからないことを知ることができた。</li> <li>(2) 災害時の避難を考えるにあたり、地区のことをよく知っている年配者の意見を聞きながら判断することの大切さを学ぶことができた。</li> <li>(3) 地域の方と一緒に学習する場を設定することで、地域の中の一員であることを意識することができた。</li> </ol> </li> </ol>
<b>課 題</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地区ごとの地図を準備することが大変であった。 A1サイズの地図を準備したが、7～10人位の班では、小さすぎた。地図は関係機関に働きかけて、作業しやすいものを準備したい。</li> <li>2 最上級生として、自宅の周りの様子、登校班の集合場所や通学路付近の様子を学ぶことができたが、それを下の学年に伝える時間を設定することができなかった。事後の活動の在り方、学習の時間確保について検討していきたい。</li> </ol>